



# みくびだより

発行 御首神社社務所

## 当社における

## 新型コロナウイルス対策

昨年より拡まった新型コロナウイルスは、未だ世界中で猛威を振るっており、当社でも様々な感染予防対策を行って参りました。

### 【昨年の対策例】

#### ▼ 神事・行事等における対策

- ・ 例大祭や大祓神事等の縮小齋行
- ・ 崇敬会研修旅行や子供夏祭り等の中止

#### ▼ 境内における対策

- ・ 手水舎の柄杓撤去（流水にて手を清めます）
- ・ 拝殿前の鈴緒や御神酒、おみくじ筒の撤去
- ・ 境内に対策呼び掛け看板設置
- ・ 社務所入り口にアルコール消毒の設置
- ▼ 室内における対策
  - ・ 社務所受付への飛沫防止パネルの設置
  - ・ 控室や拝殿の換気や密集対策（早めのご祈祷案内）
  - ・ ご祈祷終了時の御神酒授与の中止
  - ・ 職員等のマスク着用
  - ・ 御朱印の書置き対応

そして本年も、境内・室内に於いては昨年同様の対策を継続しており、四月の例大祭は昨年以上に縮小して行い、また夏越大祓は昨年と同じ方法にて齋行する予定です。その他諸行事につきましても、皆様の健康と安全を考慮しながら随時対応致す予定でございます。

皆様にはご不便・ご迷惑をお掛けする事も有るかと思存しますが、何卒ご理解ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

## 祭事報告

### ▼年越大祓

十二月三十日

毎年二回行われる大祓神事の後期分にあたります。まずは殿内にて大祓詞を奏上し、その後拝殿前にて、皆様の罪・穢が託されました人形を、忌火にてお焚き上げ致しました。

コロナ禍の為、昨年の夏越大祓と同様の申込み方法を取り、感染拡大防止に努めさせて頂きました。



### ▼元旦祭

一月一日



午前零時、国の隆昌と世界の恒久平和を願い肅々と齋行致しました。

毎年、元旦祭の始まりと共に、初詣で賑わう参拝者の声と、鈴緒を振って鳴らされる鈴の音で賑やかな新年を迎えるのですが、本年は外出自粛や分散型の参拝により参拝者も少なく、また鈴緒も撤去しておりましたので、静かな新年を迎えました。

### ▼左義長

一月十五日

当日は天候も良く、穏やかな日差しの中で、無事に齋行されました。

境内に設置された火炉前にて神事を行い、昨年一年間お護り戴きました御神符や御守り、注連縄・縁起物などに感謝申し上げます、忌火にてお焚き上げを致しました。

氏子の皆様のご協力のもと、注連縄や縁起物などの分別作業も順調に進み、又参拝者の方々のご理解もあり、本年も昨年同様に、昼頃には焚き上げを納めさせて頂きました。



### ▼浄火祭

二月三日

皆様の諸願成就・厄祓いを願う齋行される神事で、昨年一年間に亘り、ご祈祷を受けられた方々が奉納された金幣串やご自宅の神棚等に奉られました紅白串を始め、ご参拝の皆様が祈願奉納されました絵馬や帽子を忌火にて焚き上げました。

神事では、神職等が大祓詞を奏上する中、氏子区域から選ばれた五名の厄男（今年厄年にあたる男性）が、「何某、心願成就」と唱え、絵馬や金幣串を火の中へくべてゆきました。

本年は、密を避けるべく皆様へのご案内は控えさせて頂きましたが、こちらが思っていたより多くの方が参拝され、神事終了後には、各自お持ち頂いた帽子を火炉の中へ投げ入れ、感謝の祈りを捧げておられました。浄火祭もまた、氏子の皆様を始め、ご参拝の皆様のご理解のもと、お昼頃には焚き上げを納めることが出来ました。



▼祈年祭

二月十六日

祈年祭は、「としごひのまつり」とも言われ、例祭・新嘗祭と並ぶ三大祭の一つとして重要なお祭りとしてされてきました。

今年の五穀豊穰を祈り、あらゆる産業や工業の発展と皇室・国家の安泰を願いました。

▼東日本大震災復興祈願祭

三月十日

東日本大震災発生から十年の節目の年に、神社本庁より全国の神社へ神事齋行の通達があり、当社と致しましても、お亡くなりになられた方々の御霊鎮めと共に、更なる復興を願いお仕え申し上げました。

▼鍬山神社例祭

三月十七日

豊受大神（伊勢神宮の外宮）をお祀りし、境内社として本殿の北東に鎮座しております鍬山神社の例祭を、滞りなく齋行致しました。

▼例大祭

四月二日

本年も、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、お神輿を始め、境内の特設舞台での子供たちの打ち囃子や演芸、また参道脇の露店などは全て中止し、神事のみお仕えする次第となりました。

神事もまた、献幣使や楽人・助勤神職等も参列をご遠慮頂き、神事も献饌・撤饌での御供え授受を無くすなど密を避ける対応を取り、齋行致しました。



▼お田植祭

六月十日

境内の神饌田前にて滞りなく神事を執り行いました。例年は当杜宮司により早苗が植え付けられるのですが、今年は諸事情が重なり、職員が田植えをさせて頂きました。

尚、この神饌田で収穫される稲穂は今年十一月の新嘗祭にお供えし、その後はお下がりとしてお頒ちされます。

▼南宮神社例祭

五月四日

夜に行われる試楽祭・本楽祭は、昨年同様に録音された打ち囃子を流す事で奉納の代わりと致しました。  
来年こそは、例年通り賑やかな例大祭が行われることを祈るばかりです。



▼月次祭

毎月一日・二十日



# 新型コロナウイルス 感染予防にご協力下さい

マスクを着用してください



PLEASE WEAR A MASK

距離をとってください



KEEP SOCIAL DISTANCE

発熱・体調のすぐれない方は  
ご遠慮ください



PLEASE DO NOT ENTER  
IF YOU HAVE A TEMPERATURE  
OR FEEL UNWELL

職員のマスク着用



ALL STAFF ARE  
WEARING MASKS

鈴緒をはずしています



THE BELL ROPE  
HAS BEEN REMOVED

神社でご用意した御朱印を  
授与しています



LOOSE-LEAF GOSHUIN  
ONLY

換気を行なっています



OPEN FOR VENTILATION

飛沫防止用シート設置中



AEROSOL BARRIERS IN USE

控えめな会話に  
ご協力願います



QUIET PLEASE

ご祈祷中は  
会話を謹んで下さい



QUIET PLEASE

消毒液を使用してください



PLEASE SANITISE YOUR HANDS

柄杓を撤去しています  
流水をお使いください



NO CASSOTTE  
PLEASE USE A STREAM

※上記以外にも日々の状況変化に応じて追加措置を行う場合がございますので、ご理解ご協力をお願い致します。



### 夏越大祓のご案内

八月八日、当社では恒例の夏越大祓を執り行います。

大祓は、日常生活において知らず知らず受け犯している罪や穢れを人形（ひとがた）に託し、祓い清め、心も身体も清々しく、病にかかるとなく、毎日を無事健康に送れますことを切に願ひ、一年に二度（夏越・年越）執り行われる伝統的な神事です。

今年の夏越大祓は、新型コロナウイルスの感染予防の観点から、昨年同様の申込み方法を取らせて頂きます。詳しくは左記の申込み方法を参照下さい。

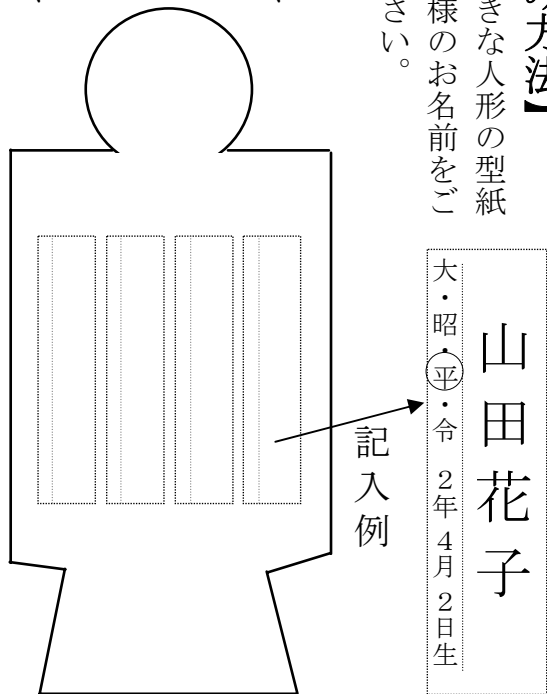
古来より伝わる大祓に申し込まれて、ご本人はもとよりご家族皆様が心も身体も清々しく、この夏を大神さまの廣大無辺のお護りのもとに健康な日々をお過ごし頂きたく、願う次第でございます。

### 【申し込み方法】

今年も、大きな人形の型紙に、ご家族皆様のお名前をご記入して下さい。

- 人形の型紙にご記入の上、申込み封筒に入れ、初穂料（お志）を添えて社務所にお持ち頂くか、郵送で申込み下さい。

●型紙・申込み封筒は社務所にも用意してあります。



### 祭事案内

#### ▼西宮神社例祭

七月十七日

兵庫県西宮市の西宮神社の御分霊（蛭子命）を御祭神とする相殿社の例祭です。

蛭子命は、商売繁盛・事業繁栄等の御神徳がございます。

#### ▼末廣稻荷神社例祭

八月八日

京都の伏見稻荷大社より御分霊を賜り（宇迦之御魂神）、境内の東側に御鎮座しております末廣稻荷神社の例祭です。

#### ▼長寿祈願祭

九月十五日

氏子地域にお住まいの長寿会の皆様をお招きして、更なるご健康とご長寿を祈願致します。

#### ▼神明神社例祭

十月十七日

当社の境内社として本殿の北西に鎮座し、天照大神をお祀りする神明神社の例祭です。

### 崇敬会入会のご案内

本会は、「古来首より上の諸病を憂うる者此の社に願えば靈験あらたか」と伝わりし御首神社の御神徳に感謝し、ご家族の諸病平癒・無病息災・家内安全生業繁栄並びに子孫繁栄を願う崇敬者の会として設立されました。

入会を望まれます方は、社務所までご一報下さい。早々に案内資料をご用意させて頂きます。

#### 会員の特典（抜粋）

- ・入会報告祭の実施
- ・誕生特別祈禱の実施及び祈禱神符の授与
- ・主要祭典のご案内
- ・昇殿参拝

#### 会員の種類と年会費

個人	三千元
家族	五千元
特別	一万円
法人	二万円
名誉	三万円

〈お問い合わせ先〉  
神社社務所まで

〇五八四一九一―三七〇〇

# 祭事案内

## ▼七五三

十月

七五三の御祈禱は、三歳・五歳・七歳と言う成長の節目に神社に参拝し、これまでの無事成長を感謝し、これから先の健やかな成長を願うものです。

その昔、男児女児共に髪を剃る習慣があつたとされ、三歳になると髪を伸ばし始める歳と定め、三歳の七五三を「髪置きの儀」と呼びます。

また、五歳では男の子が袴を履き始める歳として、五歳の七五三を「袴着の義」と言います。



### 令和3年 七五三

	数え歳	満年齢
7 歳	平成	平成
	27年	26年
	生まれ	生まれ
5 歳	平成	平成
	29年	28年
	生まれ	生まれ
3 歳	平成	平成
	31年	30年
	生まれ	生まれ

そして、七歳は女の子が子供の帯から大人の帯を締め始める歳になるため、七歳の七五三を「帯解きの儀」と呼ぶようになったと伝わっております。

お祝いの年齢は、古くから数え歳でありましたが、現在では満年齢で数えられる方も沢山お見えます。又、男女共に三歳・五歳・七歳でお参りされる方も増えてまいりました。

右記に記載の年齢表をご参考の上、ご都合に合わせてご参拝下さい。

尚、七五三のご祈禱は十月から年末にかけて随時お仕え致しております。(予約不要)

## ▼崇敬会大祭

十一月三日

当神社崇敬会会員の皆様の無病息災・家内安全・生業繁栄・子孫繁栄を願い行われます。通常は会員の皆様に参列のご案内を送りするのですが、昨年は新型コロナウイルスの関係で残念ながら神事のみ行いました。本年も、感染状況の様子を見ながら検討させて頂く予定です。

## ▼新嘗祭

十一月二十三日

三大祭の一つとして古来より大切にされてきた神事で、その年の五穀豊穰への感謝をし、初物を神様に食して頂き、併せて皇室のご安泰、国家の安寧を願います。

境内の神饌田にて収穫される御初穂もご神前にお供え致します。尚、この初穂はご祈禱のお下がりとして授与しております。

## ▼月次祭

毎月一日・二十日

## 末廣稻荷神社 参道幟 募集中

末廣稻荷神社参道の幟旗は、毎年末廣稻荷神社例祭(八月)とお正月に新調します。ご奉納頂きました幟は、約半年間に亘り参道に掲げられます。



八月取替予定の幟の申込にはまだ余裕がございますので、奉納ご希望の方は社務所までお申込下さい。随時先着順にて受付させて頂きます。

\*幟一對 初穂料 三千元

### 編集後記

今号のみくびだよりの「宮司挨拶」は、諸般の事由により割愛させて頂きました。

## 御首神社社務所

岐阜県大垣市荒尾町一二八三の一  
Eメール syamusy@mikubi.or.jp  
TEL (〇五八四)九一―三七〇〇